

をしたいと思います」といってきて…。(シリアスあり)  
からしばらくしたある日、ヤーピはわたしの前に現れて「お礼  
持っていたミルクキャンディーをヤーピにわたしました。それ  
した。さがしものをしていたクアイ族のヤーピです。わたしは  
わたしは小さな不思議な生き物に出会いま  
川でボートをうかべながら本を読んでいた



梨木 香歩//著  
福音館書店  
☆☆☆

【豊岡市推薦図書】(シリアスあり)

フントともにまじよをたおすぼうけんの旅に出かけます。  
どもたちは、ライオンのアス  
って支配されています。子  
ナルニア国は白いまじよによ  
ア国」が広がっていました。

ここには雪の降り積もるふしぎな世界「ナルニ  
ある日、見つけた衣装ダックスの中に入るとそ  
古い屋しきにやってきた4人のきょうだい。  
C.S.ルイス//作 瀬田 貞二//訳  
岩波書店  
☆☆☆

『ライオンと魔女』 ナルニア国ものがたり1

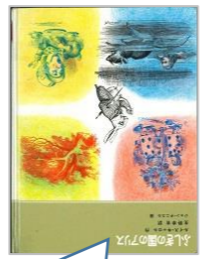
『台所のメアリー・ポピンズ』  
P.L.トラヴァース//作  
アノニマ・スタジオ  
☆☆☆  
イギリスの伝統料理やデザートをしよ  
かい。『風にのってきたメアリー・ポピン  
ズ』とあわせてどうぞ。

『カレーライスを一から作る』  
前田 亜紀//著  
ポプラ社  
☆☆☆  
お米、野菜、スパイスを育て、  
皿とスプーンも「イチ」から作ってみた。  
はたして、おいしいカレーライスは  
できたのでしょうか？



よんだほんの☆をぬろう。  
なんこ☆がぬれたかな？  
コ  
2020.12 発行

な物語を楽しんでください。  
世界でした。ゆかいな登場人物とへんてこ  
り、なみだの海でおぼれたりする不思議な  
こんなあなの先は、せがのびたりちんだ  
しゃべるウサギをおいかけてアリスがとび  
ルイス・キャロル//作  
生野 幸吉//訳  
福音館書店  
☆☆☆  
おかしなチナー・パンチーに  
ごしょうたい!

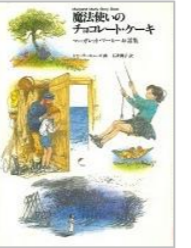


『ふしぎの国のアリス』

町の劇場のあとに、モモというふしぎな女の  
子が住み着きました。ある時、町の人たちの  
様子がおかしいのです。人々は時間の節約を  
するようになりました。大人はイライラ、子  
どもは無気力。時間と心を取りもどすため、  
モモのぼうけんが始まります。モモは無事に  
時間を取り戻すことができるのでしょうか。  
ミルチャエル・エンヂ//作 大島 かおり//訳  
岩波書店  
☆☆☆

『モモ』

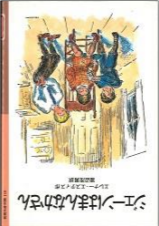
~テーマ別ブックリスト~  
**おいしそうな本**  
【5・6年生】  
『みらくるミルク』  
中西 敏夫//文 米本 久美子//絵  
福音館書店  
☆☆☆  
『みさき食堂へようこそ』  
香坂 直//作  
講談社  
☆☆☆  
『魔法使いのチョコレート・ケーキ』  
マーガレット・マーヒー//作  
石井 桃子//訳  
福音館書店  
☆☆☆  
豊岡市立図書館



『チョコレート工場の秘密』  
ロアルド・ダール//作 柳瀬 尚紀//訳  
評論社  
☆☆☆  
チャーリーの住む町に、世界一ゆうめい  
で世界一巨大なツクカのチョコレート工  
場がありました。しかし、だれも働く人  
たちのすがたを見たことがありません。  
そんなツクの多いチョコレート工場に、5人の子どもたちが  
しょうたいされることに。

『チョコレート工場の秘密』

『ジェーンはまんなかさん』  
エレナー・エスチラス//作 渡辺茂男//訳  
岩波書店  
☆☆☆  
モフットきょうだいのまんなかっ子のジェ  
ーンはある日、親友のナツシーの家で晩ごほ  
んをいただくことに。ジェーンはマツから台所にお手伝いさ  
んがいたら、大皿の最後の1きれはお手伝いさんの分だから  
運び込まれました。しかし、大皿の上にはナツシー一家族の分  
の4きれにあと1きれ。ジェーンは困りました。あと1きれ  
はジェーン分？お手伝いさんの分？さあ、どうしましょう？



『ときそば』  
川端 誠//作  
クレヨンハウス  
☆☆☆  
声に出して読むと楽しい落語絵本。  
古典の世界を楽しもう。



『300年まえから伝わりとびきりおいしいデザート』  
エミリー・ジェンキンス//文  
ソフィー・ブラッコール//絵  
あすなる書房  
☆☆☆  
とびきりおいしくて、  
ないしょのデザートとは？



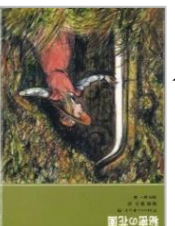
『王さまライオンのケーキ』  
マシュー・マケリゴット//作  
徳間書店  
☆☆☆  
半分の半分、倍の倍がわかる、  
算数が楽しくなるおはなし。



『農場の少年』  
インガルス一家の物語5  
アラマンゾは9歳の男の子で、ニューヨ  
ク州北部にある農場に住んでいました。ア  
ルマンゾは学校に行くより、家でとさん  
の農場でつたいをしていての方が好きでし  
た。子牛を訓練したり、大きなカボチャを育てたり。アメリカ  
のむかし農場の暮らしがえがかれています。おいしそうな食  
べ物もたくさん登場します。(シリアスあり)

『農場の少年』

『秘密の花園』  
F.H.バーネット//作 猪熊 葉子//訳  
福音館書店  
☆☆☆  
インドで両親を亡くした少女メリーは、イギリスのおじさん  
の家に引き取られてきます。そのおやしきには、入口のカギ  
がかかったまま十年間だれも入ったことがないという「秘密  
のわ」があります。ある日、立ち入ることをきんじられ  
ていたろうかから子ども泣き声がかきこえてきて…。  
メリーはいったい何とであつたのでしょうか？



『がんばれ給食委員長』  
中松 まるは//作  
あかね書房  
☆☆☆  
給食委員長になったゆうなが  
給食の食べ残り問題にいとむ!



『金色のキャベツ』  
堀米 薫//作  
そうえん社  
☆☆☆  
『寺町三丁目十一番地』  
渡辺 茂男//作  
福音館書店  
☆☆☆



寺町三丁目十一番地にある福地写真館。福  
地家はお父さん(福つつあん)、お母さんと  
9人の子どもたちに福つつあんの助手と  
お手伝いさんの13人家族。福地家はいつもにぎやか。兄弟げ  
んかにボイコット事件、どろぼうさわぎまで。昭和十一年ごろ  
の福つつあん一家の日常をえがいた物語。